

# FESTINA LENTE



The pure blue sky in Australia

## 2019 11月号 HIGHLIGHTS

オーストラリア、最高でした！  
海外から来た仲間たちです！  
自転車の安全に心掛けよう！  
高校英語ディベート大会で優勝！

高1(IWATA)修学旅行記  
4年1組担任 宮川 修一

1  
～  
4

進路指導部より  
進路指導主任 池辺 和則  
HOT TOPICS ← 今月の目玉

5

10～11月 部活動の結果  
特活主任 坂本 文郎

6  
7

留学生のご紹介  
APUコース主任 荒金 正治

8  
9

生徒指導部より  
生徒指導主任 野村 哲也

10

高校英語ディベート大会

## オーストラリア修学旅行記

今年も高校1年生IWATAコース90名が、10月20から10日間、オーストラリアへの修学旅行に行ってきました。

いつもながら早朝の出発にもかかわらず、多くの保護者・教職員の皆さんからのお見送りを受けました。生徒、引率教員ともに感謝の気持ちを抱きながら出発です。

経由地のシンガポールでは乗り継ぎまでの時間をを利用してこの街のシンボルであるマーライオン公園を訪問したり、ナイトサファリを楽しむことができました。

福岡空港を発ってちょうど丸一日が過ぎた頃ブリズベンに到着。この日は市を一望できるマウントクーサやローンパインコアラ保護区を訪問してオーストラリアの空気を味わった後それぞれのホストファミリーと対面。皆元気な笑顔で、ホームステイ先へと向かいました。

3日目はホームステイ先から交流校への初登校の日です。交流校はホストファミリーのある地区別に4校。各学校ごとに4日間の登校期間には様々なプログラムが組まれておりゲーム形式で英語を学んだり、スポーツをして汗を流したりと現地の生徒たちとの交流が大いに深まったようです。

登校中は生徒1名ずつに交流校の生徒さん1名が“buddy”についてお世話をしてくれましたが、互いの絆は日に日に強まっていったようで、最終日のお別れパーティでも皆、名残惜しそうな様子を見せていました。

## 4年1組担任 宮川 修一

帰国前日はいよいよホストファミリーとのお別れです。一週間を共に過ごし、お世話になつた人たちとの別れはつらいものです。

「またここに戻ってきてたい」と固く心に誓つた生徒も少なくないことでしょう。

私たちにとって一番嬉しいこと。それはこどもたちの笑顔。そして幸せです。今回の旅では子どもたちのたくさんの笑顔を見る事ができとても嬉しかったです。生徒たちはどんなことをも前向きにとらえて本当に頑張りました。この研修を無事に終えることができたのも頑張った子どもたちのおかげです。また、たくさんのアドバイスをくれた岩田の先輩たち、元気に接してくれた現地校バディーの皆さん、やさしく支えてくださったホストファミリーの方々、現地校での生活をリードしてくださったコーディネーターさん、安全な旅をサポートしてくださったJTBスタッフなど多くの方々、そしてなんと言つてもこれまでたくさん準備を手伝ってくださった日本の家族のおかげです。

本当にたくさんの人たちに支えられてこの研修を無事に終えることができたことに心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

34回生は私たちの自慢の生徒です。

\* 次のページからは、生徒が作成した修学旅行文集の原稿をピックアップして掲載しています。



タイトル

# 『当たり前』から学んだこと

1組 10番 清田 みお

みお

「今年は元気に修学旅行を楽しんで、現地のことを沢山知るのが目標です！」

そんなことを、4月からずっと言っていた。マイペースで環境の変化に弱く、いつも不安を抱えてばかりの私は、この貴重な体験を不安や緊張で台無しになど絶対にしたくなかった。しかしそれに反して、出発が近づくにつれて口増しに緊張が高まっていくのを、私は身体中でひしひしと感じていた。空港に向かうバスの中で、私は大口を叩いたことを早くも後悔し始めていた。頭がいっぱいいっぱいで、せっかくの機内食もほとんど食べられず、これから10日間を想像すると気が遠くなるようだった。

しかし、そんな心配は杞憂だった。飛行機ではずっと「休憩したい」と感じていたはずが、入国を済ませ、シンガポールの空気に触れると、不思議と重苦しい感情が薄まっていった。それはオーストラリアでも同じで、純粹に「この貴重な経験を楽しもう」と思えるようになった。そして、友達も出会う人も、皆温かくて、自然体でいることができた。

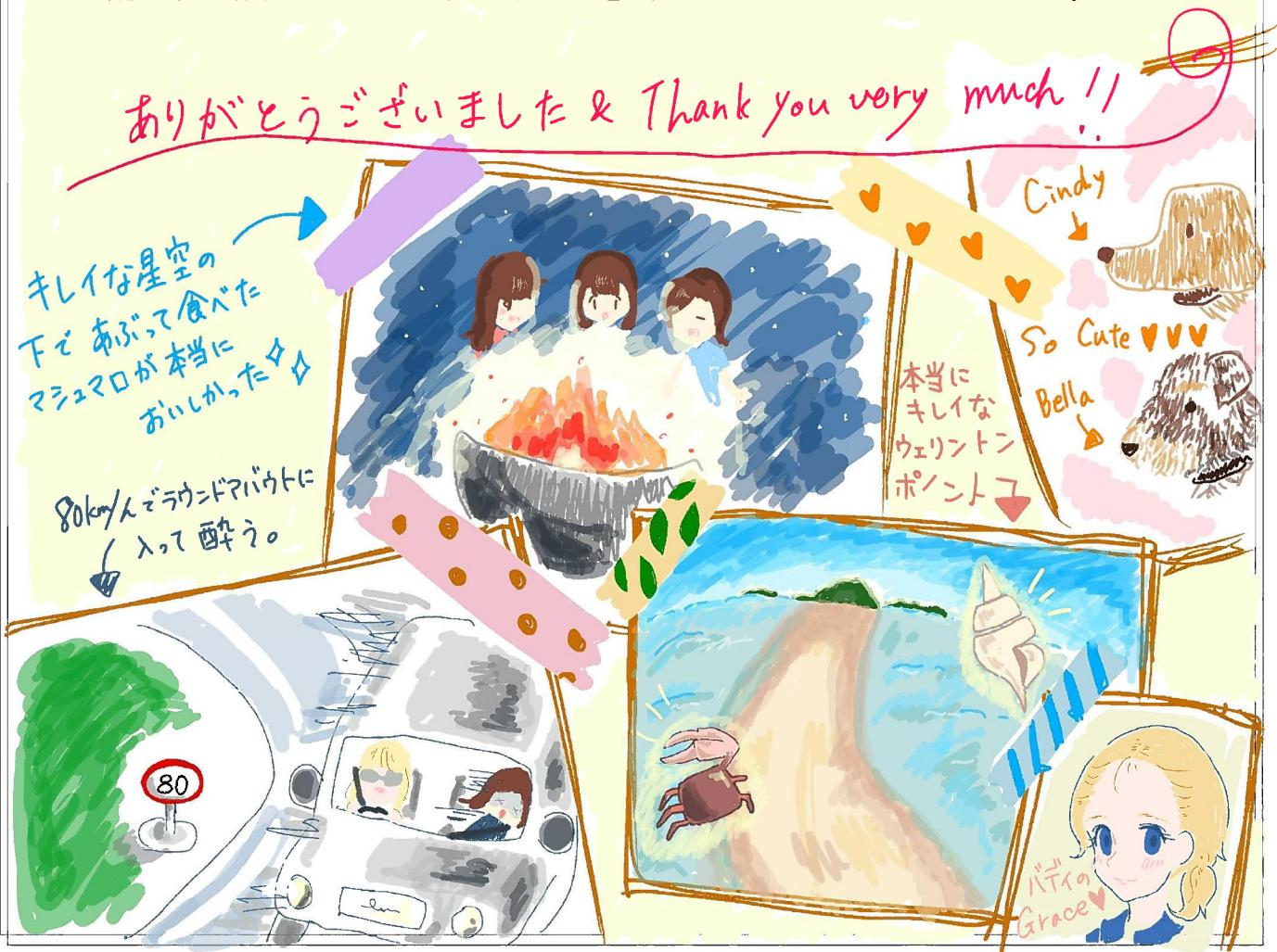
異文化を楽しむ余裕も出てきた頃、私が気になり出したのは、現地の人々の生活や交通、学校の様子など、その土地特有の「当たり前」だ。オーストラリアは左側通行で日本車も多いとか、あちこちで寿司が売っているとか、法定速度が速くてラウンドアバウトで振り回されるとか、現地の人にはなんでもないことが、私にはとても新鮮に映った。

オーストラリアでは「自由」や「多様性」をあちこちで感じたのが印象的だった。中学生でも授業は選択式で、授業中は板書をノートでとっている人もいれば、パソコンでとっている人もいる。途中で別の授業に行くこともできる。休みの目には、車椅子に乗った人やその家族が楽しそうに海辺を散歩したり、マルシェで買い物をしているのを何度も見えた。そして、私はこの多様性を日本でもっと広めたいと思った。もちろんいいことばかりではないが、オーストラリアの人々ののびのびとしたスタイルが、「多様性」の1つの在り方として私は好きになれた。

今回修学旅行を通して、私は「実際に足を運ぶことで分かる、現地の『当たり前』から様々なことを学んだ。そして、心から英語や異文化についてもっと知りたいと思えるようになった。今の気持ちを忘れず、この体験を次に活かしていくと思う。

最後に、この体験を楽しめたのは、いつも私を気遣い、サポートしてくれた人たちのおかげです。

ありがとうございました & Thank you very much !!



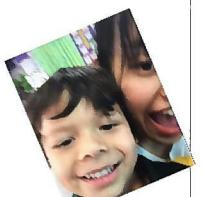
タイトル

『修学旅行の思い出

』 9組14番 氏名 陶山 明日香

修学旅行での思い出は沢山ありますがその中でも特に印象に残っている事は3つあります。まず1つ目は、シンガポールでの観光です。私はシンガポールに初めて行きました。最初は何故か少し緊張していましたが、ガイドさんやお店の人が優しい人ばかりでとても嬉しかったです。またナイトサファリでは、色々な動物が見れて楽しかったし、クラスの女子で見れて幸せでした。2つ目はオーストラリアでの学校です。私は中高一貫校に行きました。そして幸運なことにバディが3人もいました。初日からティータイムもランチもバディとバディの友達の7人で過ごしました。みんなが色々日本はどんな感じなのかとか質問してくれて会話が途切れませんでした。そして私の拙い英語を一生懸命聞いてくれたり、私がわからないことをちゃんと説明しながら教えてくれたりしてすごく嬉しかったです。また、最終日には沢山のお菓子やおもちゃやぬいぐるみなどをもらって本当に別れるのが辛かったです。またいつか会った時は私からおもてなししたいです。

そして3つ目は、ホストファミリーです。初日は慣れないことも沢山あり、その上言語が違うのでちゃんと伝えられなかつたこともあります。でも、ホストマザーがしっかり聞いてくれて解決できました。本当に感謝しています。そして一週間ずっと一緒にいて遊んでくれたゼイドとゼンダです。2人はとても人懐っこくて寝るときにgood night～と言いに来てくれたり朝起きてすぐあそぼうと誘ってくれたりすごく可愛いかったです。土曜日にはホストマザーのお友達とその娘さんと一緒にトイストーリー4を見ました。女の子がずっとひつひついて可愛いかったです。最終日はトランポリンで遊んだりブランコをしたりしました。すごく疲れたけど可愛いかったです。また会って沢山遊びたいです。この1週間は沢山思い出ができて濃い1週間でした。もう一回戻りたいです。



タイトル

修学旅行の思い出 』 3組26番 氏名 山内 春佳

## オーストラリア



私のホストファミリーは多くの動物を飼っていました。  
犬が5匹、猫が4匹、インコが1羽、山羊1頭、  
羊が3頭、馬が17頭いました。  
朝は5時に起きて馬の餌やりをし、日が暮れてからも  
もう一回、馬の餌やりをしました。  
しかしそれが苦痛に感じることは一切なく、自然の中にあるこの家は、  
私に沢山のことを教えてくれました。



## 小学校

小学校に行って1番驚いたことは、  
おやつの時間があることです。2限と3限の間に菓子や、  
果物を食べる時間が設けられていました。  
バディの2人はとても優しい子たちで、  
昼休みに遊んでくれたことや  
一緒にご飯を食べたことは大切な思い出になりました。

## ホストファミリーとの休日

### ・土曜日

この日の朝、人生で初めて鶏が捌かれているのを見ました。  
ホストファミリーは2ヶ月に1回 鶏を60羽ほど自分たちで捌き、  
それらを出荷しているそうです。家の前に簡易的な台所があり、  
クリスさんが捌き、ナタリーさんが内蔵を出す作業に少しの間、  
私は見入ってしまいました。

当たり前のように毎日食べているものがどのような経緯を辿っているのか、  
食に感謝をすることは当然わかっていても、改めて考えさせられました。



### ・日曜日

日曜日はどこにも行かず、1日ホストファミリーの家にいました。  
朝はいつものように馬に餌やりをし、昼からは覚えた馬の名前を  
確認しながら、馬の絵を描きました。自然の中で絵を描いたことは初めてで、  
とても心地良かったです。夕方頃になるとクリスさんが乗馬をしないかと  
言ってくれて、10分程乗馬させてくれました。オーストラリアに来て、  
乗馬ができると思ってなかったので、とても嬉しかったです。  
夜には星を見ました。近くには街灯も無かったので、星がとても綺麗でした。  
木星に火星、南十字星、天の川もはっきりと見えました。  
最高の休日になりました。



## 最後に

私はホストファミリーとのお別れの時、涙を流してしまいました。  
その涙はまだ帰りたくない、もっとここにいたいと思ったのか、  
それとももっと英語が話せればと思ったのか、それとも別の理由が  
あるのか私自身もわかりません。でもとてもいい体験ができたと思います。  
英語をもっと上達させまたいつか  
ホストファミリーのもとに帰りたいと思います。



ブリスベン

## 夏の対外模試成績概評

7月上旬に中3～高2が受験したベネッセ総合学力テストの成績結果と、高校3年生の近況などについてご報告いたします。

まず初めて進研模試を受けた中3（35回生）ですが、難関大学到達ラインであるSゾーンに12名（約13%）が入りました。これは過去5年間では最も多い数字になっています。また、国立大学レベルであるB2以上では61名となっており健闘しています。ご存知のように本校の中3は、一般的な高1と同じ模試を1年早く前倒しして受験しています。例年、中3と高1の同じ時期の模試を比べると、一年間で平均して1～2ほどゾーンのランクが上がります。高校1年7月の過去5年間の平均では、Sゾーンが20%，国公立レベルに約70%の生徒が位置しています。35回生は受験をした英数国の中では数学の上位者数(偏差値65以上)が過去5年間で最高となっており、今後の伸長が期待されます。

次に高1（34回生）ですが、中3の1月の結果と比べると、Sゾーンの割合が約5倍の20%に増加し、また国立大学レベルであるB2以上でも約1.5倍の74%に増加しました。また、上位は県内受験者のトップ5

に4名が入り、全体として順調に学力を伸ばしてきます。高1は、これから生徒会活動や部活動などでも学校の中心となる立場です。学習面でも全校を引っ張っていくという自覚をもって、さらに学力を向上させてくれるものと期待しています。

続いて高2（33回生）ですが、Sゾーンの割合が20%，B2以上では66%となり、Sゾーンについては昨年、一昨年同様、過去5年間の中でも比較的高い結果となっています。模擬試験の全国的な傾向として学年が上がると、参加校が絞られて偏差値が下がる傾向にありますので33回生は十分に健闘したといえます。少人数ながら学園祭を成功させた勢いそのままに3学期を高3（受験学年）O学期と位置付け、スタートダッシュを期待します。

最後に高3（32回生）ですが、センター試験まで2ヶ月を切り、早朝から夜遅くまで、受験勉強に取り組んでいます。模擬試験の結果も順調です。32回生は医進クラス2年目学年ということもあり、1つ上の31回生のアドバイスや経験を基に受験計画を立て、すでに医歯薬学部等の合格も勝ち取っている生徒もいます。まだまだ多くの

生徒が受験を控えていますので、高3学年団とともに、進路指導部も全力でサポートしていきたいと考えています。

## 【訂正とお詫び】

11/16の学校からの説明会資料において下記の誤植がありました。訂正してお詫び申しあげます。  
 共通テスト英語  
 (誤)リーディングは100点・60分  
 (正)リーディングは100点・**80分**  
 ※リスニングは従来通り60分中、実試験時間は30分となっています。

## 進研模試(ベネッセ)のランク(抜粋)

S1	東京、京都、一橋(経・商・法)、難関国立医
S2	大阪(理・工)、九州(文・法・薬)、大分(医)
S3	九州(経・工・農・歯)、熊本(薬)、福岡(医)
A1	広島(文・法)、九州(理・芸工)、熊本(法)
A2	広島(理・工)、熊本(文・理・工)、佐賀(農)
A3	大分(経)、長崎(経)、九州工業(情報工)
B1	北九州市立(地域創生)、山口(工)、福岡(商)
B2	大分(理工)、琉球(工)

## HOT TOPICS

9月20日から11月2日までのおよそ40日間にわたって開催されたラグビーワールドカップ日本大会。日本に住む私たちは世界トップレベルのラグビーを堪能し、日本代表の活躍に心躍らされ、また、海外から訪れた人々の多さと熱気に驚かされたものです。

「一生に一度」とも形容されたこの世界的な大イベントに、わが岩田学園から参加した人物がいます。

新聞などの報道を通じてご存じの方も多いと思いますが、英語科の牧野佳太教諭が「ローカル・マッチオフィシャル・リエゾンオフィサー」として、熊本開催の2試合に臨みました。全国でこの任務に選ばれたのは9名のみ。牧野先生は審判のB級ライセンスを所持しており、かつ英語に堪能な英語教師であるという点が選考の理由となりました。今回は非常に貴重な経験をした牧野先生にお話をうかがいました。

## Q. どのような業務をされたのですか？

牧野：各国から選抜されて来日したレフリー団の送迎から食事の管理、試合当日のスケジュール管理など身の回りのサポートを行いました。

## Q. 大変だったこと、苦労したことは何ですか？

牧野：W杯という特別な試合なだけに、選手同様レフリー団も気が張っています。試合でレフリーに最高のパフォーマ

ンスをしてもらうための環境作りがリエゾンの仕事なので、TPOを考えながらレフリーと会話を交わすのは大変でした。

## Q. ワールドカップに参加して感じたこと・得たことを教えて下さい。

牧野：いろいろな国の方が様々な形で大会運営に携わっていました。そんな方々と“大会成功”という一つの目標に向かって一緒に仕事ができたことを誇らしく思いました。まさに“一生に一度”的貴重な経験をさせていただいたと思っています。

牧野先生は学校の業務も多忙の中、準備と本番業務のために大分と熊本の間を何度も往復していました。本当に疲れ様でした!!



# 学園だより



## 10~11月部活動の結果報告

特活主任 坂本 文郎

### ★ 中体連新人戦

#### ● バスケットボール部

女子 10/2(水) 岩田19 - 80大在  
岩田18 - 85明野

バスケット経験者が少ない中で強豪校との対戦となりました。相手のスピード、パワーに終始圧倒されましたが、諦めることなく、最後までボールを追い続け、その結果得点につながった場面もありました。

これから練習で、全員が練習に参加し、勝つための努力をするよう促していくことを思います。

保護者の方々の応援・サポートに感謝です。  
(顧問:牧野)

男子 10/2(水) 岩田40 - 63大分西  
岩田48 - 84明野

2年6人、1年2人の少数精鋭(?)で挑みました。メンバー揃ってのチーム練習がなかなかできず、オフェンスは個人で戦う状況になりました。

ディフェンスの考え方・共通理解もまだまだこれから。積極的にチャレンジする姿勢、諦めずにボールを追う姿勢は貫くことが出来ました。

日々の練習をチーム全員で積み重ねることでチーム力UPを図っていきたいと思います。たくさん保護者の方々の応援を頂きました。ありがとうございました。

#### 県新人戦

10/12(土)女子1回戦 岩田21 - 116駅川

10/13(日)男子1回戦 岩田44 - 83日出

男女ともDFが機能せず、大量失点で敗れました。頭ではDFを理解しているけど、足が動かない・夢中になり忘れる・意識が低い…。

普段の練習から声を掛け合い意識の徹底を図りたいと思います。厳しい時間がほぼ90%の中、良いプレーもあり、1年生が出場し点を決めることもできました。

多くの保護者の方々の応援・サポートに感謝です。  
(顧問:野田)

#### ● 陸上部

10/2(水)

中学1年生女子4名、2年生女子4名の全員が100m、200m、4×100mRのいずれかに出場しました。台風の接近にともない2日間の日程が変更となり1日での開催となりました。また、時折強い風や雨が降る中の競技となり選手には厳しい環境での開催でした。中学1年生の後藤が200mで自己ベストの30秒55をマークし組の中で1位をとり、中学2年生の古手川が100mの組の中で1位となりました。また、リレーでは前を行くチームをバトンワークで逆転するなど実りある大会となりました。他の選手も自己ベストを目指して、最後までねばりましたが入賞はなりませんでした。お忙しい中送迎や応援にお越しくださった保護者の皆様ありがとうございました。

(顧問:山下・中川)

#### ● 卓球部

10/2(水)

個人戦に出場しました。惜しくも敗退しましたが、最後まで粘り強く戦うことができました。負けた悔しさをこれらの練習に生かしてもらいたいと思います。

(顧問:後藤正)

#### ● 野球部

岩 田 0 0 0 0 0 1 0 1

種田西 0 0 1 0 5 0 × 6

投手陣が粘り強く投げましたが、打撃がフォロー出来ず、終盤で相手の勢いに押されて大量失点をしてしまいました。次に繋ぐ攻撃とここでいう時の得点力を今後の練習で付けていきたいと思います。最後になりますが、朝早くから応援やサポートをしてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

(顧問:伊東)

#### ● 剣道部

1 - 1 高山真生

(個人戦フレッシュの部) 初戦惜敗

<フレッシュの部>とは4月から始めた選手のみの試合です。入部から黙々と人形を打ち続け少しづつ力をつけてのデビュー戦でした。昨年まで1回戦を勝ち抜いた選手が県大会の出場権を得ていましたが今年はフレッシュのみ県大会にでれます。リベンジしたいと思います。

#### 県新人戦

10/20 フレッシュの部

(4月から始めた選手の部)

1 - 1 高山真生 2回戦敗退

1回戦は延長の末、判定となり、果敢に攻めた結果により初勝利を収めることができました。1・2年生で一人しかいませんが、この勝利を励みとしながら前に向かって精進していくことを期待します。

(顧問:阿部)

#### ● テニス部

10/2 (水) ~4 (金) 大分市新人大会  
大洲運動公園テニスコート

[男子団体戦]

1回戦: 岩田3-0大東B

2回戦: 岩田3-0大分

QF: 岩田1-2豊府A

[女子団体戦]

1回戦: 岩田0-3滝尾

[男子個人戦]

S: 高(中1)・徳永(中2)…3R進出  
二ノ宮雅(中1)…2R進出

[女子個人戦]

S: 鶴岡(中2)…3R進出  
原口(中2)…2R進出

10/12 (土) 大分県新人大会 大洲運動公園テニスコート

[男子団体戦]

1回戦: 岩田1-2青山

[女子団体戦]

1回戦: 岩田1-2賀来

新チームでの大会ですが、学園祭後、また考査直後のコンディションが整わない中での大会となりました。中1男子の善戦は今後に期



待を抱かせます。保護者の皆様には温かいサポートをいただき、ありがとうございました。

(顧問 立川・高橋)

## ● サッカー部

### [市新人戦]

10/2(水) グループリーグ戦

岩田 2-2 植田南／岩田 0-4 城南

10/3(木) トーナメント戦

岩田 0-5 南大分

植田南との対戦では、トップ下やサイドバックからの積極的な攻撃参加が相手ディフェンスを崩し得点をあげることができました。

城南と南大分との対戦では、総合力の差を感じながらも全力でプレーし、チームディフェンスや個々の課題を得ることができました。

新チームで初めての公式戦に臨み、2日目のトーナメントまで進めたことはよかったです。

### [県新人戦]

10/12(土) 岩田 3-1 佐伯城南

10/13(日) 岩田 0-0 日出

P Kで敗戦（岩田 1-3 日出）

佐伯城南との対戦では、守備を基軸に3得点。2試合を通じて1失点で締めくくるいいディフェンスができました。

市新人戦のディフェンスの課題を今大会にしっかりとつなげることができました。

フィールド選手・ケガで途中退場の選手・サポートに徹してくれた部員、全員が頑張った結果だと思います。

また日頃から一緒に練習してくれる先輩や休日に応援に駆けつけてくれた先輩にも感謝です。

保護者の方々、送迎に応援、誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。

(顧問:河野)

## ★ 高校各大会

### ● テニス部

(男子) 大分県高等学校新人テニス競技大会 (10/12(土) 大分スポーツ公園テニスコート)

団体戦 1R 岩田 1-3 大分工業

(個人戦なし)

どの試合も接戦で、あと一步のところで敗れました。今回の試合で見つかった課題を、次の大会に向けての練習に活かして欲しいと思います。

(顧問:荒金)

### ● サッカー部

10月20日(日) 全国高校サッカー選手権大会大分県大会

2回戦 岩田 0-1 3 大分工業

強豪校のスピード、パワー、テクニックに終始圧倒される展開となってしまいました。守備優先で試合に臨んだつもりでしたが、ボールへのプレッシャーが遠く、相手を自由にさせてしまったと思います。自分たちの取り組みが通用しなかつたことをしっかり受け止めて、「本気で日常を変える覚悟！」を持って今後の活動に繋げて欲しいと思います。

遠くまで生徒の送迎と応援に足を運んで下さった保護の方々、誠にありがとうございました。

(顧問:野村哲)

### ● バスケットボール部

(高校男子) OBA U-18リーグ

11/10 岩田 58-65 三重総合

岩田 41-62 佐伯豊南

高校1年生の6名で出場。三重総合戦は、前半リードしながらも追いつかれ逆転負け。佐伯豊南戦は、身体の大きな相手に食らいつきながらも及びませんでした。

これまで以上にたくさんの良いプレーが見られました。より良いプレーの選択ができるようになると流れが悪い時にどう立て直すかが今後の課題です。

判断力をあげることと個人のシュート力UPを練習の中で意識させたいと思います。保護者の方々の協力（遠い会場への送迎・応援）に心から感謝いたします。

(顧問:野田)

(高校女子) OBA U-18リーグ

11/10 岩田 33-35 竹田

岩田 68-33 鶴城三重総合

2試合共に練習でやって来たことを出すことができ、竹田にはあと1歩及びませんでしたが、鶴城三重総合には、勝つことができました。女子はこれが初勝利！良いプレーが増え、試合中も互いによく声を掛け合っていました。今後はシュート率の向上が課題です。日々の練習で改善していきます。また勝利の喜びを感じることのできるように、次も頑張ってほしいと思います。保護者の方々の遠方への送迎・応援に感謝です。

(顧問:牧野)

### ● 卓球部

11/9 令和元年度大分県高等学校新人大会

団体戦 岩田 1-3 竹田南

今回は新しい試みとして、応援の掛け声等を決めて、チーム一丸となって臨みました。先に一勝をして、流れをつかんだものの、逆転負けをしてしまいました。春の団体戦では、すぐ負けていたものの今回は、約2時間ほどの試合をし、粘りました。技術面はとてもよくなっています。今回は、デュースで勝ちきれない弱さ、つまり、精神力の弱さが敗因だったので、それを次回は克服します。

お忙しい中、応援に来て下さいました保護者の皆様、誠にありがとうございました。

(顧問:西田)

### ● 剣道部

11/9 令和元年度大分県高等学校新人大会

個人戦のみ出場 (団体戦は7人制のため出場できず)

3名とも初戦敗退 (顧問:阿部)

# 学園だより



## 留学生のご紹介

今年度も A P U ・立命館コースでは 2 学期から 5 名の留学生を迎えたので、ここで紹介いたします。

- ※①校内での呼び名 ②出身国 ③留学のきっかけ
- ④実際に来日しての日本の印象 ⑤岩田高校の印象
- ⑥好きな日本のもの(人) ⑦コメント

### ●パンカオ ヴィレイヴァン さん

①ファサイ

②ラオス

③ Study abroad is one of my dreams since I was a child. I want to learn more about cultures and society of foreign countries. And at the same time, it is a chance for me to meet new people from all around the world and make new friends. Study abroad can help me gain experiences and that will help me with future.

④ The first thing that impressed me about Japan is their society. Everyone is friendly, kind and respectful even we don't know each other. Environment is another thing that amazes me. The weather is perfect not too hot and not too cold. Since Japan is really clean, I can't see any trash along the street or on the road and that is surprise for people who came to Japan for the first time like me.

⑤ I was surprised about the study system of Japan especially in Iwata High School. Every teacher is kind and fully supports us. I can feel that the teachers at school are trying to help me out with learning because I can not understand Japanese. Our class 4-4 is a fantastic class, everyone is friendly and easy going. I am really glad to meet everyone here and I feel lucky that I have a chance to study in Iwata High School.

⑥ In addition to Japanese culture and society. I also like Japanese foods too, especially desserts. My weight is increasing since I came to Japan. I eat Japanese sweets every night and it seems hard to stop this habit. My favorite Japanese food is Tonkatsu and my favorite Japanese dessert Mochi.

⑦ Two months have passed but I still feel like I just came to Japan last week. Everything goes very fast. For me, it is like I start a new life in Japan and I enjoy it a lot. Since I came to Japan, I never feel homesick because everyone makes me feel like I stay with my family. I never feel alone or lonely and this is surprising to me.

### ●ウネプティ アヴェリア さん

①アヴェリア

②インドネシア

③ Because for me, learning a very useful and fun activity, I like to know something new and try it. For me learning is

## APU・立命館コース主任 荒金 正治

never boring. When I feel like a failure, it's not the end for me. I will continue to try and try. Because for me, it's better to fail so many times than regret forever.

④ My first impressions when I arrived in Japan were many. But I will write one of the most valuable impressions for me. The thing that impressed me the most is that Japan is a beautiful and clean country. I rarely even see trash on the street. Culture. There is one of my valuable impressions, Japanese culture, discipline and courtesy were the things I felt the first time when I got here.

⑤ IWATA High School is a special school although it looks simple, but the students who study here have exceptional quality. I feel proud and honored to be able to have a student exchange period at this school.

⑥ Japanese life is very disciplined and full of politeness. Really I learned a lot about living ethics while being here.

⑦ I hope to stay here much longer, because one day I will return to visit Japan and ofcourse for this beloved school.

### ●ニュン ノックリン さん

①リン

②ドイツ

③日本語の勉強をするためにきました。そして、たくさん新しいことを知りたいです。

④ドイツとちがっているところがたくさんあって、おどろきよろこびました。

⑤岩田高校の学生と先生はいつもやさしくてしんせつです。

⑥日本には好きなものがたくさんあります。日本の食べ物とカラオケが一ぱん好きです。

⑦私の日本語はまだまだですから、がんばります。

### ●マクドウェル ケンジー さん

①ケンジー

②米国

③ I wanted to study abroad because I wanted to see a culture by a natives' point of view.

④ Japan is very different from America, our cultures and values are very different. At first I thought that Japan was strict but learned that certain manners are just different.

⑤ Iwata is a very interesting school and I think the APU course is really nice.

⑥ Japanese food is absolutely delicious. I'm going to miss it a lot when I go back to America.

※留学生のご紹介は次ページに続きます。



### ●何 心鉢（カ シンギョク）さん

- ①何
- ②中国
- ③日本語を4年間勉強してきて、ずっと日本での生活を体験したいです。そして先生が「心連心」という留学のプログラムを紹介してくれました。それをきっかけにして日本に留学に来ました。
- ④町がきれいで、みんな優しいです。みんな寒さに強そうです。
- ⑤先生達が優しいです。学校もいろいろなイベントがあっておもしろいです。
- ⑥たこやき。そしてラグビーワールドカップ期間の雰囲気はすばらしかったです。⑦今回の留学は本当にいい経験だと思います。ここで楽しく過ごして、いい思い出をたくさん作りたいです。日本での生活を体験したり、みんなと交流したりして、充実することができると思います。

\*ケンジーさんは来年2月まで、ファサイさんとアヴェリアさんは来年3月まで、リンさんと何さんは来年7月まで、それぞれ本校で留学生活を送って異文化交流をします。



左から 何さん、ケンジーさん、アヴェリアさん、リンさん、ファサイさん



## 生徒指導部より

生徒指導主任 野村 哲也

### ●お子様が自転車で通学している保護者の方へ

★5月に大分市の高校生による自転車での死亡事故が発生しております！！

### 警視庁の調査による自転車事故の原因

- 1位 安全不確認 51.3%**
- 2位 一時不停止 19.8%**
- 3位 信号無視 7.8%**

#### ★本校の現状

- ・スポーツタイプの自転車が急増中！（ライトがオートではない）
- ・リュックを背負い運転
- ・イヤホンで音楽や、スマホ扱いなどの「ながら運転」の目撃が増加中！
- ・自転車通学生の保険加入率は、まだ50%程度
- ・自転車通学生でヘルメットを着用している生徒はわずかに1%未満(-\_-;)

#### ★保護者の方にお願い

- ・イヤホンで音楽やスマホのながら運転など、各ご家庭でも注意して下さい。
- ・事故対策のために極力保険に加入して下さい。（TS保険をお勧めします。）
- ・ヘルメットの着用について、一度お子様と話し合いをされてく

ださい。

- ・お子様の通学路と一緒に確認して、危険箇所を把握して下さい。



### ●スマホ&SNSについて 生徒指導部からのお願い

★スマートホンの便利さの陰に隠れた「危険性」を自覚して、

各家庭での「管理」「ルール」が絶対的に必須です！！

- ・家庭での使用時間を1時間程度までに「管理」して下さい。
- ・アカウントの把握も大事ですが、充電場所や充電器を把握して「管理」して下さい。
- ・ラインの内容、特にグループトークには注意して、定期的に見せてもらって下さい。
- ・子どものアカウントに入ってきたフォロワーや知り合いを把握して下さい。
- ・SNSではなく、直接話をするコミュニケーションを大切にして下さい。
- ・とにかく各家庭でルールを必ず作って下さい。

インフルエンザが流行し始めています。充分な栄養と睡眠、手洗い・うがいを心がけて、予防に努めて下さい。

## 大分県高校英語ディベート大会で優勝！

英語科主任 岩田 奈緒子

10月27日（日）に第15回大分県高等学校英語ディベート大会が行われ、APU・立命館コース5年4組を中心に2チーム13名が出場しました。今年度の議題は「Japanese government should limit the weekly maximum average working hours, including overtime, to 48 hours (following the E.U.)」（日本国は、残業を含めた週あたりの最長平均労働時間を、（E.U.にならい）48時間に制限すべきである）」で、賛成・反対それぞれの立場をとり、対戦しました。岩田Aチーム（河原・鄭・尾野・ファサイ・石田・今里）は予選Aブロックでは大分舞鶴高校、大分東明高校と戦いましたが2勝0敗と全勝し、決勝ラウンドへ進出。決勝戦でも大分上野丘高校に勝利して、見事優勝を収めました。岩田Bチーム（野地・隈井・寺井・何・小野拓・土田・江藤）は予選Bブロックで大分上野丘高校に僅差で敗れましたが、別府鶴見丘高校には勝利し、1勝1敗と見事な結果を残しました。また、県で2名選出されるベストディベーター賞にはAチームの河原さん、Bチームの何さんが選ばされました。更にはこの大会で優勝したことにより九州大会および、全国大会（群馬）への出場権も獲得しました。

九州大会は11月16日（土）17日（日）に鹿児島県で行われ、岩田チームは出場全16チーム中7位の成績を収めました。

今回の大会に向けて、入賞した6名の多大なる努力と情熱に加えて、クラスの生徒全員が出場メンバーの練習相手やタイムキーパー、チアパーソン、リサーチ等の担当を担い、最後の最後まで仲間の勝利を信じてサポートしてくれました。今回の結果は、クラス全員で共に努力し、勝ち取った結果です。これからも12月25日（水）26日（木）に群馬県で行われる全国大会に向けて、クラスメイトや支えてくださった方への感謝の気持ちを忘れず、新たな気持ちで準備して参ります。



<http://iwata.ed.jp/>

ホームページやブログでCheck !

能力の差は小さいが  
努力の差は大きい

脚力尽くる時、山更に好し。  
輝ける未来へ、全力でサポートします！



November 2019

大分市岩田町1丁目1番1号

学校法人 岩田学園

TEL : 097 (552) 8327

FAX : 097 (556) 8937

E-MAIL: iwata@iwata.ed.jp



21世紀の有為な人材を育成する  
岩田中学校・高等学校